

天文館

児童虐待防ごう オレンジリボンに願い



児童虐待防止を訴える街頭活動が5日、鹿児島市の天文館であった。ボランティアら約80人が参加。啓発チラシなどを入れたエコバッグを通行人に手渡し、虐待のない社会への思いが込められたオレンジリボンを用意したツリーに結んでもらっていた。写真。

児童虐待防止推進の11月に合わせ、国際奉仕団体の鹿児島キワニスクラブや

県、鹿児島市が毎年実施。ボランティアの武岡台高校1年、福田一心さんは「対面で呼びかけることでより関心を持ってもらえれば」と話した。

県によると、2022年度に県内3児童相談所と市町村にあった通告・相談件数は4037件、うち認定件数は2823件でいずれも過去最多。県子ども家庭課の堂園和吉課長は「虐待

を疑ったら、ためらいなく対応ダイヤル『189（いちやく）』に電話を」と呼びかけた。心理的虐待が増加していると「ドメスティックバイオレンス（DV）などを見せられることも虐待だと知ってほしい」と話した。（塩野雄梧）